

## 平成 24 年度リワークあっぷる事業報告

### ○定員が 25 名に増員

定員を 25 名に変更、利用者確保のための広報活動を実施。パンフレットをリニューアルし、札幌市内のハローワーク、北海道障害者職業センター、就労に関する相談事業所、各相談支援事業所、ジョブカフェ、各区役所へ配布し、利用者確保に努める。

関係機関からの紹介(B型希望者を含む)	85 件	平成 24 年度末登録者数	21 名
移行新規利用者	17 名	1 日の平均利用者数	17.6 名

また、新たな広報活動として、3月29日よりホームページを作成しており、今後の利用者確保に向け活用していく。

### ○利用者支援の質の維持・向上

(1) 就労の状況 平成 24 年度就職者数 9 名

	性別、年齢、障害	就職先	業務内容	利用期間 (B・移行)
A 氏	40 代、女性、発達	東横イン	大浴場の清掃	2 年・9 か月
B 氏	20 代、男性、精神	コープさっぽろ	店内での品出し	10 か月・10 か月
C 氏	10 代、男性、身体	きのとや	製造補助	3 か月・1 年
D 氏	40 代、男性、知的	ガイア	店内清掃	利用なし・3 か月
E 氏	40 代、女性、精神	セピア (株)	化粧品製造員	1 年・7 か月
F 氏	30 代、男性、発達	産直	店内での品出し	利用なし・11 か月
G 氏	10 代、男性、発達	郵政研修センター	清掃業務	利用なし・1 ヶ月
H 氏	40 代、女性、知的	あけぼの荘	清掃業務	利用なし・1 年半
I 氏	20 代、男性、発達	西松屋	店内清掃・商品管理	利用なし・5 か月

就職者数は減少(昨年比)。しかし、一人ひとりへの密なフォローアップ支援を行う事で、離職者を減らす事が出来ており、9名全員が現在も継続して働いている。また、昨年度就職をした 11 名のうち 8 名が継続して働いており、全体としての定着率も 62%と事業所としての売りである高い定着率(45%以上)を維持できている。

過去の就職者の継続状況

年数	人数	年数	人数
5 年以上継続	2 名	2 年以上継続	9 名
4 年以上継続	2 名	1 年以上継続	8 名
3 年以上継続	3 名		

(2) 所内支援の状況

・就労プログラムの実施

9 月までの半年間で計 12 回実施。(初級・中級・上級各 4 回ずつ) その後も、月毎にテーマを用意して 2 週/回のペースで実施。

・就労プログラム登龍門の実施

就職する上での基礎的な知識の習得のため、6回を1クールとして実施。移行を利用する方を対象とし、利用期間中、必ず一度は受けるように開催。今後は新規の利用者に合わせて日程を組み、平成24年度は計2回実施した。

・SSTの実施

職場での良いコミュニケーションや、日頃の困りごとやコミュニケーションにおける不安をテーマとして取り上げ、スキルアップをはかる。2週/回のペースで実施。

(3) 実習状況

《短期実習》

日程	会社名	実習内容	参加者数
4/19. 20, 6/4, 6/26	(株)メディアマジック	アニメ関連商品の梱包	4名、3名、3名
6/28～9/28	(株)bizcue	古本のリサイクル	8名
7/12	(株)相川商店	メロンの梱包	3名
8/6～10	(株)オフィスエム	倉庫内、封入作業	3名
9/11～10/27	(株)オフィスエム	事務、その他	1名

※11月以降、単発での外部実習はなかった。

《年間実習》

実習先	実習内容	頻度	参加人数(累計)
D.C.ほっとステーション	デイルーム・事務所清掃	日曜・祝日以外	18名
札幌交通局	寝具交換	3日に1回	8名
支援センターみなみ	センター内清掃	週3回(月・水・金)	6名
相談室みなみ	事務所内清掃	2週に1回(火曜)	4名

※年間を通しての実習は、頻度が高く、事業所が休みでも行う事があった。

○まとめ

平成24年度は、定員の増加変更に伴う利用者増とサービスの質の維持が大きなテーマとなっていた。新規利用者の確保については、各関係機関へ訪問し、パンフレットを配布した効果が見られ、一定数の確保は見込めた。しかし、1日の平均利用者数からもわかるように、定員を満たしていたとは言えず、より充実した広報活動が次年度以降の課題となっていくと思われる。

また、サービスの質の維持についても、利用者や所内作業が増える中、就労プログラムの実施やハローワークへの同行支援、就労後のフォローアップ支援を継続して行う事が出来ていた。

○平成25年度の課題

- ・引き続き利用者確保のための広報活動を強化する。
- ・プログラムや所内作業を可能な限り、実際にある求人や職場環境に合わせた訓練の場に行えるよう検討していく。(例：事務訓練→電話対応、資料作成、シュレッダーなど)
- ・効果的な職業訓練ができるよう、継続的に実習を受けてくれる企業を探す。
- ・職員のスキルアップのための所内勉強会を開く。